

きらめき

坂城町女性団体連絡会だより 第42号

発行 坂城町女性団体連絡会
編集 女団連だより編集委員会



「煌めいて過ぎましょう」



会長 師田 智恵子

坂城町女性団体連絡会は、町内10の女性団体により構成されています。主な目的は「男女共同参画により、女性が活発に活躍することで、明るく健康な地域づくりに役立とう」ということにあります。新型コロナウイルス感染の拡大と予防から、ここ数年は事業も中止となりましたが、今年度は総会で承認を得た事業を全て実施する予定です。多くの皆様に、男女共同参画についての関心や、女性団体の活動に興味を持っていただけるよう、理事会では「明るく、楽しく、元氣よく」意見交換を行い、その都度ご案内や情報を発信してまいりたいと思います。日々の何気なく生活をしている時間に、ささやかな幸せを感じ、煌めいて過ぎましょう。1年間よろしくお願いたします。

活動報告

「オンライン研修会に参加して」

宮原 広美

6月24日(土)、坂城町隣保館において、能條桃子さんによる「政治分野のジェンダー不平等、わたしたちの世代で解消を」のあいとびあ主催の講演会がオンラインで行われました。

難しそうなタイトルに、気後れしながら参加しました。講師の先生は、20代の女性で、既にラジオやテレビのコメンテーターとして活躍されている方でした。小学生の頃、地元「青少年議会」に参加した時、政治で働いている女性を初めて知り感銘を受け、大学生時代に議員選挙の手伝いも経験しましたが、若者は政治に関心が無いと見向きもされず、大学の友人には政治をタブー視され、とてもがっかりしたそうです。

これでは私たちが生きたい社会を作ることが出来ないかと若者の選挙投票率が80%といわれるデンマークに渡り、こんな言葉を言われたそうです。「政治家と有権者は鏡」意味は良い政治家が居ないのは良い有権者が居ないから。今の私達の政治離れや投票率の低さを見ても考えさせられる言葉でした。能條さんは、2022年政治分

野ジェンダーギャップ解消を目指し、20代30代の女性の地方選挙立候補を呼びかけ支援する一般社団法人を設立、今年4月の統一地方選で長野県だけでも3名の当選をたしました。

まだ圧倒的に男性比率が多い政治分野に若者・女性を送り込み、男性でも女性でもお年寄りでも若者でも平等に、社会を作っていくのは私達自身で、「社会の問題は変えていけるんだよ」の言葉に光が見える気がしました。

「視察研修に参加して」

神田 みね子

今年の視察研修は「新ごみ処理施設を視察し、環境を学ぶ」を目的とし7月13日(木)に千曲市の「ちくま環境エネルギーセンター」の見学でした。坂城町、千曲市、長野市の一部の篠ノ井、松代地区から出された可燃ごみを処理する最新型の施設で、建物の外観はとても焼却場とは思えないつくりで綺麗です。焼却時に出る排ガスの熱から発電をして、施設内の電力を賄い、余剰電力は売電しているとお聞きし驚きです。最後に残る灰もスラグという物にして、アスファルトの下地材にし、最終処分場を持つていく物はごくわずかになります。中央制御室ではモニターで

状況を監視してごみ処理場には見えません。臭いもなく環境に配慮していることを感じられました。隣接の余熱利用施設も盛況のようです。ごみの分別、生ごみの水分を減らすなど、新しい施設を末永く利用できるようにしたいです。

昼食は日本遺産センター内でパスタをいただき、その後長野県立美術館で「葛飾北斎と3つの信濃」の展示を見ました。上町祭屋台や岩松院の天井絵を最新技術で印刷したものや数多くの作品を見ることができ、改めて北斎の偉大さに感銘しました。



▲視察研修にて

令和5年度坂城町女性団体連絡会

- 会長 師田 智恵子
- 副会長 神田 みね子
- 農村女性ネットワークさかき 女性専門相談員 植松 朱美
- 保健指導員会
- 消費者の会
- 交通安全協会坂城支部女性部
- 商工会女性部
- 更生保護女性会
- 婦人消防隊
- 日赤奉仕団
- 農村生活マイスター